

JAEAサイクル研との技術交流会を開催（1月26日）



1月26日（金）、核燃料サイクル技術の研究・開発を行っている日本原子力研究開発機構（JAEA）核燃料サイクル工学研究所（サイクル研）様のENTRY棟4Fにて技術交流会を開催しました（参加者数210名、含 出展関係者80名）。

午前中の第1部（11:00-12:00）ではサイクル研の永里良彦所長にご挨拶をいただいた後、下記のご講演がありました。

- (1)核燃料サイクル工学研究所 概況説明
計画管理室 室長 石田 倫彦 氏
- (2)作りたいもの、求める技術、一緒にやりたいこと
JAEAイノベーションハブ社会実装推進課
技術主幹 藤井 克年 氏
- (3)高放射性固体廃棄物の遠隔取出し技術開発について
再処理廃止措置技術センター環境保全部環境管理課
阿久澤 禎 氏
- (4)身体除染用高機能な簡単組立グリーンハウスの開発
プルトニウム燃料技術開発センター
環境プラント技術部 主査 柴沼 智博 氏

(2)では研究者への事前アンケートに基づき「会員企業に求める技術」や「共に作りたいもの」を説明していただきました。(3)では企業の技術を活用しながら進めている技術開発の紹介、(4)では企業との連携により開発した事例の紹介があり、参加会員の方々に大変興味のある講演会となりました。

午後からの第2部（12:30-15:00）では参加会員20社の展示会を実施しました。送迎用構内巡回バスを準備していただき、多数の研究者や技術者（130名）が参加して活発な技術交流をすることができました。

なお、初めての試みとして企業プレゼンテーション（参加4社）を実施しました。バス到着に合わせて展示会場脇で2回実施したところ、各々20～30名の研究者の方々に聴講いただき、会員の技術をPRすることができました。

今回は会場が原子力施設内のため、参加された皆様には入門手続き等でお手数をおかけしましたが、皆様のご協力により無事終了することができました。

【出展会員】

(株)アート科学、(株)イガデン、(株)ウイト、(株)SAC 東京*、(株)大塚製作所、(株)オプスター、(株)化研、(株)関東技研、(株)サンメック、(株)スギノマシン、助川電気工業(株)、茨城県中性子ビームライン（(一財)総合科学研究機構）、(株)ダイイチ・ファブ・テック、(株)テクノエービー、(株)日本アクシス、(株)ヒューマンサポートテクノロジー、(株)フロンティア*、(有)水戸技術設計コンサルタント*、ヤマト精機(株)、山藤鉄工(株)
（五十音順） *はJAEA様ご紹介による新規会員

今年度2回実施実施した研究機関との技術交流会は来年度も継続して開催する予定です。研究者の方々とお近づくになれる良い機会です。これまで参加されていない会員様も是非参加していただきますようお願いいたします。

